

研究協力のお願ひ

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

小腸カプセル内視鏡の診断精度に関する後ろ向き研究
1. 研究の対象および研究対象期間 2014年4月1日から2025年1月31日に昭和大学江東豊洲病院消化器内科で小腸カプセル内視鏡を施行した患者さん
2. 研究目的・方法 小腸の病変は従来の内視鏡や画像診断では評価が困難であることが多く、診断の遅れが問題となっています。小腸カプセル内視鏡は低侵襲かつ詳細な観察が可能な検査法として注目されていますが、その臨床的有用性や診断精度については十分な評価がなされていない状況です。本研究では、小腸カプセル内視鏡の診断精度と臨床的意義を明らかにすることを目的とします。 本研究は後ろ向き観察研究であり、新たな検査や治療の介入は行いません。電子カルテから診療情報を取得し、診断精度の検討を行います。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 年齢、性別、基礎疾患、小腸カプセル内視鏡の所見、他の検査(CT、内視鏡等)の所見、診断結果、治療内容、転帰についての情報を収集します。
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。

6 . 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 氏名 伊藤翔太郎

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 氏名：伊藤翔太郎

住所：江東区豊洲 5-1-38

電話番号： 03-6204-6119